

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

鉄道建設本部 北陸新幹線建設局

局長 木村 宏 様

北陸新幹線上越（仮称）駅のデザインに関する

要 望 書

平成22年6月3日

新潟県上越市

<要 望>

新幹線駅の整備にあたっては、「北陸新幹線上越（仮称）駅のデザインコンセプト及びデザイン案」を取り入れていただくようお願いいたします。

<要望理由>

新幹線は、高まる地域間競争・都市間競争の中で欠くことのできない社会基盤であることから、当市はこれまで、新幹線の持つ広域的な高速交通としての機能を踏まえ、上越地域のみならず、新潟県、北信越地域、さらには日本海側へと向かう玄関口にふさわしい駅周辺のまちづくりに取組んでまいりました。

開業まで残すところ4年あまりとなった現在、新幹線が地域にもたらす波及効果に寄せる期待が日に日に大きくなっており、とりわけ都市のシンボルとなる駅舎については、地域の個性を競いあう時代において、地域の魅力や個性を直接的にアピールするものであることから、強い関心を寄せております。

今年度には駅舎の詳細設計が開始されることから、当市では「新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議」を設置し、新幹線駅舎と駅前広場等の駅周辺公共空間が調和して整備されるよう、検討を重ねてまいりました。

会議では、平成16年に要望した「北陸新幹線上越（仮称）駅の整備に関する要望書」をもとに、この間の市をとりまく状況の変化などを整理しながら、使いやすさと上越らしさを合わせもち、全国のどこにもない上越らしい新幹線駅舎デザインについて検討し、このたびその成果を取りまとめました。

つきましては、今後の駅舎建設にあたり、新幹線駅に寄せる地域の期待をご理解いただき、この駅舎デザインコンセプト及びデザイン案を最大限に反映くださいますようお願いいたします。

上 越 市 長

村 山 秀 幸

上越市新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議座長

水 野 一 郎

上越（仮称）駅のデザインコンセプト

「 記憶に残る駅 」

雄大な自然や歴史、桜に彩られた街並み、豪雪にも対応した
駅舎構造など、地域性に対応し、そして、これらをデザインに
取り込むことで、誰もが上越とわかるような“上越をアピール”
する駅空間

説 明

上越市では、上越（仮称）駅について、雪深い場所にふさわしい機能性を備えると同時に、上越らしさを感じていただくことのできる空間となるよう、「使いやすさと地域らしさ」が両立する、全国のどこにもない上越らしい駅舎をめざし、まちなみ検討会議を通じて検討を進めてきました。

そしてたどり着いたのが、駅舎に様々な工夫を施すことで、訪れる方に上越らしさを伝え、地域に暮らす市民が百年先にも誇れる、「記憶に残る駅」というコンセプトです。

資 料

- ・別紙 新幹線駅舎デザインコンセプト「記憶に残る駅」のデザイン案（A～D案）及び駅舎屋根の融雪装置に関する技術提案
- ・参考 上越市新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議における駅周辺公共空間の考え方（新幹線駅舎のデザインコンセプトに至るまでの検討の過程）

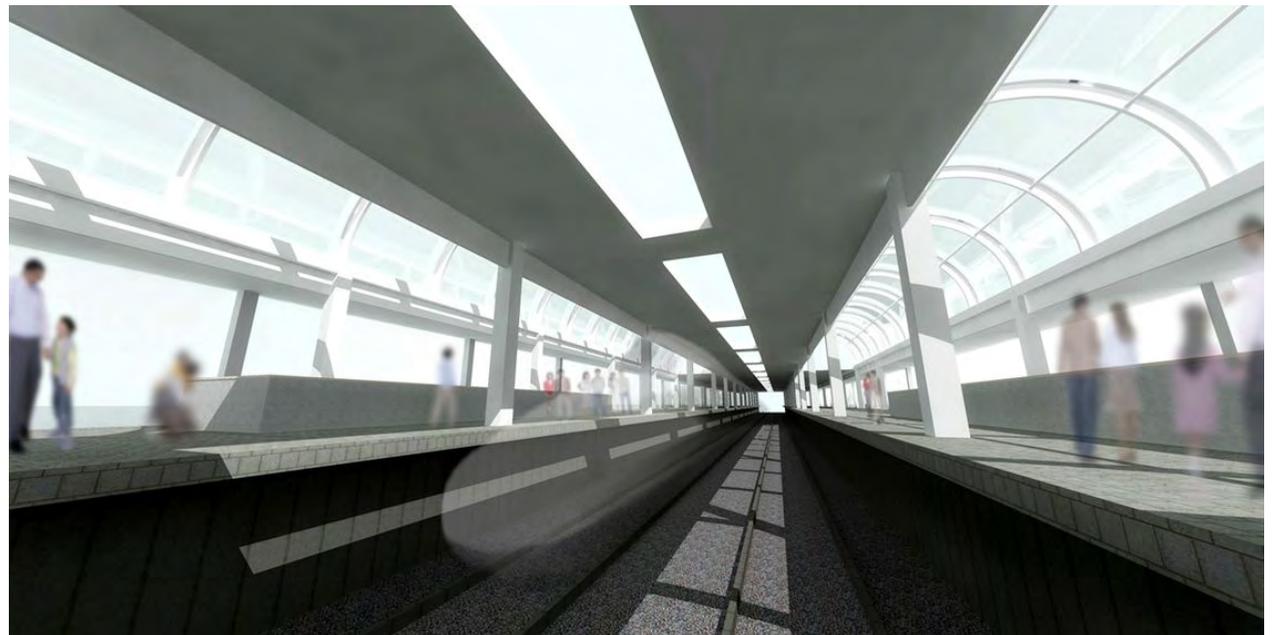
300m超にわたる駅舎屋根を「雪のトンネル」をイメージした半円形とする。

この屋根構造により自然光を取り入れる点に特徴があり、こうした形状の屋根をもつ新幹線駅は他にない。

一般に暗くなりがちなホーム内もこれによって非常に明るい空間となり、上空の青空や外の山並みなど、自然空間との一体感が心地よく感じられる。



上越(仮称)駅デザインコンセプト
「記憶に残る駅」
A案



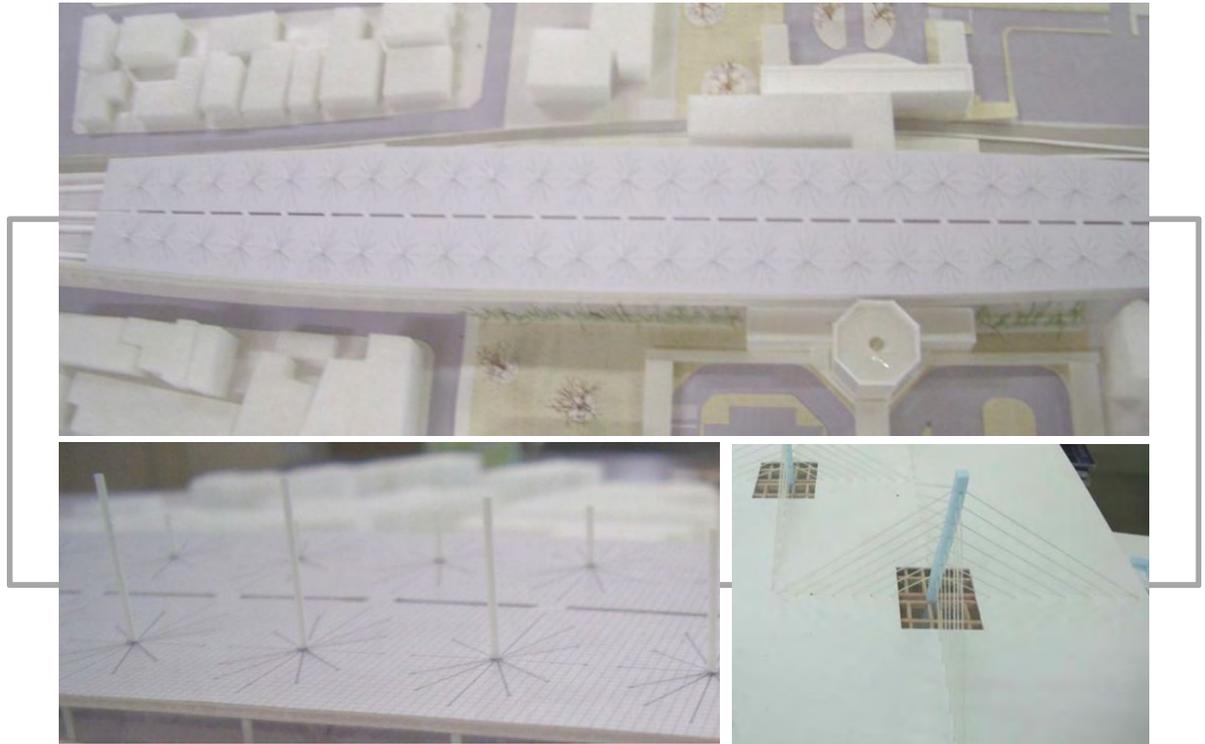
高田公園の“雪吊り”をイメージした吊り構造の屋根が特徴で、同様の構造をもつ新幹線駅は他にない。

屋根上に突き出た柱の長短により山並みを表現し、ここをLEDなどでライトアップすることにより、美しい夜景も楽しめる。

ホーム内の構造（柱）が一般的なものより少ないため、内部が広くゆとりが感じられる。また、天井に木を用いることで、あたたかさや心地よさが伝わる。



上越(仮称)駅デザインコンセプト
「記憶に残る駅」
B案



外壁ガラス面に、上越のシンボル「さくら」の絵やさまざまな情報の文字をセラミックの焼き付けにより描く。

この仕掛けによって、例えばふるさとに帰ってくる市民には懐かしさを、ホームに降り立つ人にはおもてなしのメッセージを伝えることができる。

自然空間と向き合う西側、都市へ向かう東側、ホームに立ったときそれぞれの空間と情報を楽しめる。こうした仕掛けをもつ新幹線駅も他にはない。



上越(仮称)駅デザインコンセプト
「記憶に残る駅」
C案

